

～ひとに心 まちに風～

いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら



平成23年度 羽村市の予算 わかりやすい最初の一步!



平成23年3月

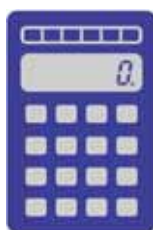
羽村市



目 次

Contents

予算って何？	1
予算とは・・・	1
一般会計とは・・・	2
一般会計を市民一人 あたりに換算すると・・・	3
市の収入	3
市税の状況	4
税源移譲	5
市の支出	5
市債の状況	7
市債とは	7
基金の状況	8
基金とは	8
一般会計を1世帯あた りの家計簿で見ると・・・	10
市の財政状況	11
経常収支比率について	11
財政力指数とは	12
公債費比率・実質公債費 比率について	13



ここは羽村市緑ヶ丘のとある家庭…夕食後の食卓をのぞいてみると…
あれ？太郎くんが何やら難しい顔をしていますねえ…



： お母さん、今度学校で僕たちの住んでいる羽村市の予算について勉強することになったんだ。でも、なんだか市の予算と言っても難しいし、興味もわからないんだよね…



： あら、自分たちの住んでいる市のことについて勉強することは、とっても大切なことよ。私たちが納めている税金がどのように使われているのか知ることって、私たちが地域の主人公として地域づくりに参加する一つの手段でもあるわけだし。市や町が倒産することだってあるんだから。



市が倒産だって？お母さん、オーバーだなあ。そんなことあるわけないよ。自治体は会社じゃないんだし…必要なお金は税金でまかなってるでしょ。



： いいえ、全国的に見ても、それぞれ自治体の財政は厳しい状況にあるのよ。少子高齢社会が進んで、福祉や医療などの社会保障の経費が増えているし、市の借金だって、ばかにならないのよ…。最近、経済不況の影響も大きいみたいだし。



： へえ、市が借金だって。何だか我が家のことみたいだね。



： そうよ、市の予算だって、家の家計みたいなもんよ。そういう見方をすると市の予算だって分かりやすいわよ。そうだ、平成23年度の市の予算について、家計に例えて見てみましょうよ。

予算って何？



： う～ん…でも、そもそも市の予算って何なんだろう…??



予算とは…

自治体が、様々な事業をするために必要な収入と支払い（支出）を見積もり、一覧表にして市民の皆さんが納めた税金や国・東京都からの補助金などがどう使われるのか、どのように市民にサービスとして戻されるのかを示したものです。予算は市民の代表である議会の議決によって出来上がり、市民の皆様にお知らせすることが義務づけられています。



： 家計に例えてって言ったけど、市の予算って、一体どれ位の金額なのかしら…？

- 平成23年度 羽村市の予算額 -

区 分	金 額
一 般 会 計	205億6,000万円
特 別 会 計 等	126億 289万円
合 計	331億6,289万円

*特別会計等には、水道事業会計を含みます。



一般会計とは…

予算は一つの大きな見積表に「収入」と「支出」を載せてやり繰りするのが原則ですが、家計において家族が別々にお財布を持つように、地方自治体も独立してやり繰りを行う別個の財布があり、これを「会計」と言います。

一般会計：地方公共団体の基本的な経費をやり繰りする予算です。市の根幹となるお財布と言えます。

特別会計：特定の事業を行う場合、そこから発生する特定の収入を、支出にあてて独立してやり繰りをするためのお財布です。一般会計のお財布から必要なお金のやり取りがあります。

市にはこうしたお財布（特別会計等）が6つあります。

- 特別会計の予算額 -

区 分	金 額
国民健康保険事業会計	59億8,892万円
後期高齢者医療会計	7億2,809万円
介護保険事業会計	25億6,139万円
羽村駅西口土地区画整理事業会計	4億9,723万円
下水道事業会計	13億8,287万円
水道事業会計	14億4,439万円



： 一般会計で205億6,000万円って、我が家の家計の何倍かしら…え~っと、え~っと…あわわわ… 思考停止…



： お母さん、しっかりして!! でも額が大きすぎてピンとこないよ。もっと身近な数字で考えないと…



一般会計を市民一人あたりに換算すると・・・

一般会計の予算額を、平成23年1月1日現在の人口で割ると、**36万6,815円**になります。(人口：5万6,050人 住民基本台帳人口)



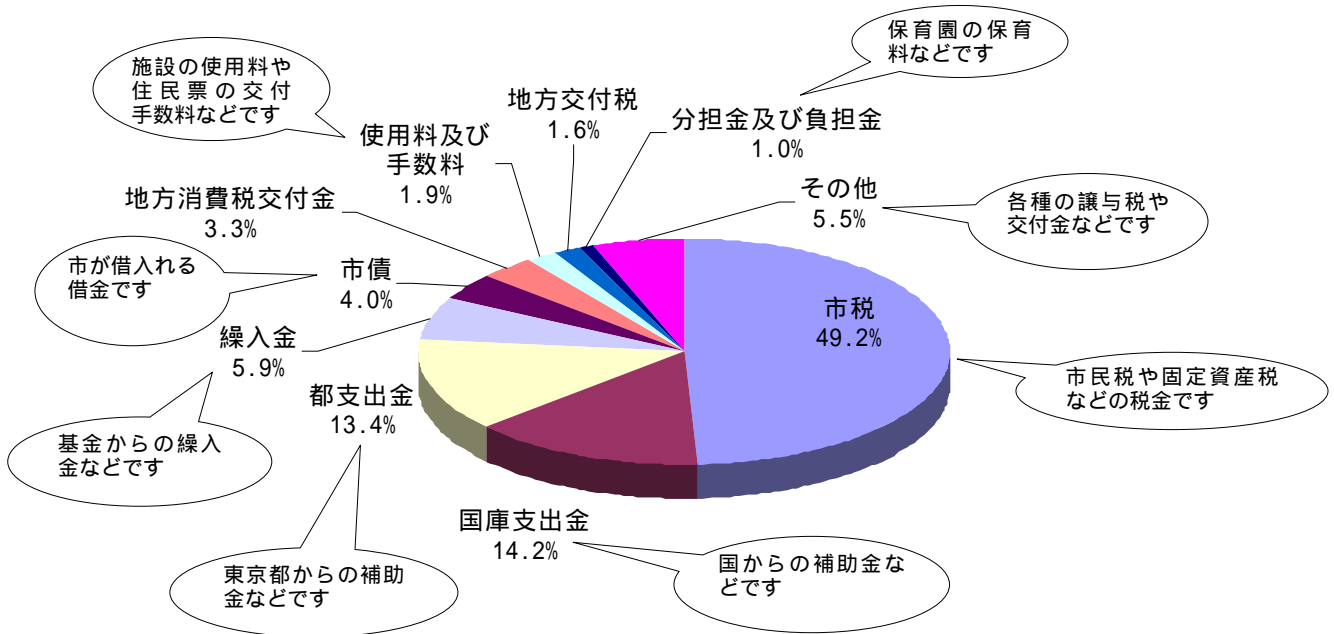
： ふ～ん・・・36万円かぁ。何となく身近な数字になってきたぞ。一ヶ月の家計位かな。どんなことにお金がかかって、どんなお金が入ってくるのかなぁ。

市の収入

市の収入(歳入)について・・・

市の収入の内訳は次の表・グラフのとおりです。

区 分	予 算 額
市 税	101億 1,061万円
国庫支出金	29億 3,040万円
都支出金	27億 5,219万円
繰入金	12億 355万円
市 債	8億 3,200万円
地方消費税交付金	6億 7,325万円
使用料及び手数料	3億 8,828万円
地方交付税	3億 3,000万円
そ の 他	13億 3,972万円
合 計	205億 6,000万円



- 市民一人あたりの収入の状況は -

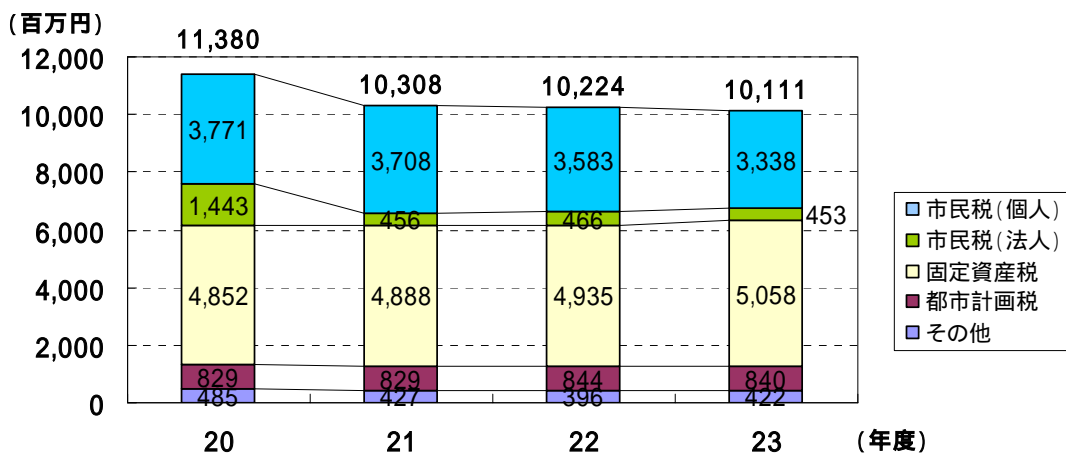


そうか…やっぱり市の予算に占める税金の割合って大きいんだね。それじゃ税金の内訳はどうなってるんだろう。会社やお店が納める税金もあるし。それに市の収入には税金が欠かせないみたいだけど、ここ数年はどんな状況なんだろう。

市税の状況

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
市 税 全 体	113億3,796万円	103億 806万円	102億2,392万円	101億1,061万円
税目別内訳				
市民税(個人)	37億7,118万円	37億 785万円	35億8,281万円	33億3,767万円
市民税(法人)	14億4,297万円	4億5,658万円	4億6,560万円	4億5,268万円
固定資産税	48億5,254万円	48億8,773万円	49億3,512万円	50億5,752万円
都市計画税	8億2,869万円	8億2,890万円	8億4,421万円	8億4,023万円
市たばこ税	3億8,449万円	3億6,739万円	3億4,288万円	3億6,288万円
軽自動車税	5,809万円	5,961万円	5,330万円	5,963万円

20・21年度は決算額、22・23年度は当初予算額です。



へえ…市民が納めている税金の収入って、結構大きいんだなあ。でも、税金は国や東京都にも納めているんじゃないのかなあ…。



税源移譲

地方自治体が、今まで以上に自主性を発揮して市民により身近な行政サービスを行うために、平成19年度からは、市民の皆さんが国に納めていた税金（所得税）の一部が地方自治体に住民税として納められるように移し替えられました。これを税源移譲と言います。市民の皆さんが納める税金の額には変わりがないように制度が作られています。

ただし、税金による市の収入が増えている分、国からの補助金などは減っています。「地方のことは地方で」。市民の皆さんや地域の実情に一層合った行政サービスが行えるように仕組みが変わっていくということなんですね。



： ふ～ん・・・ そうすると、今まで以上に、市はまちづくりについて自分で決めていくことが増えるってことなのか。ますます自分たちの納めた税金がどう使われているのか知らないといけないんだね。

あれ???でも、平成21・22・23年度って減ってきているよね？



： ふう、205億6,000万円でびっくりしちゃったけど、ようやく目が覚めたわ。そうね、税金の使われ方、もっと知りたいわね。

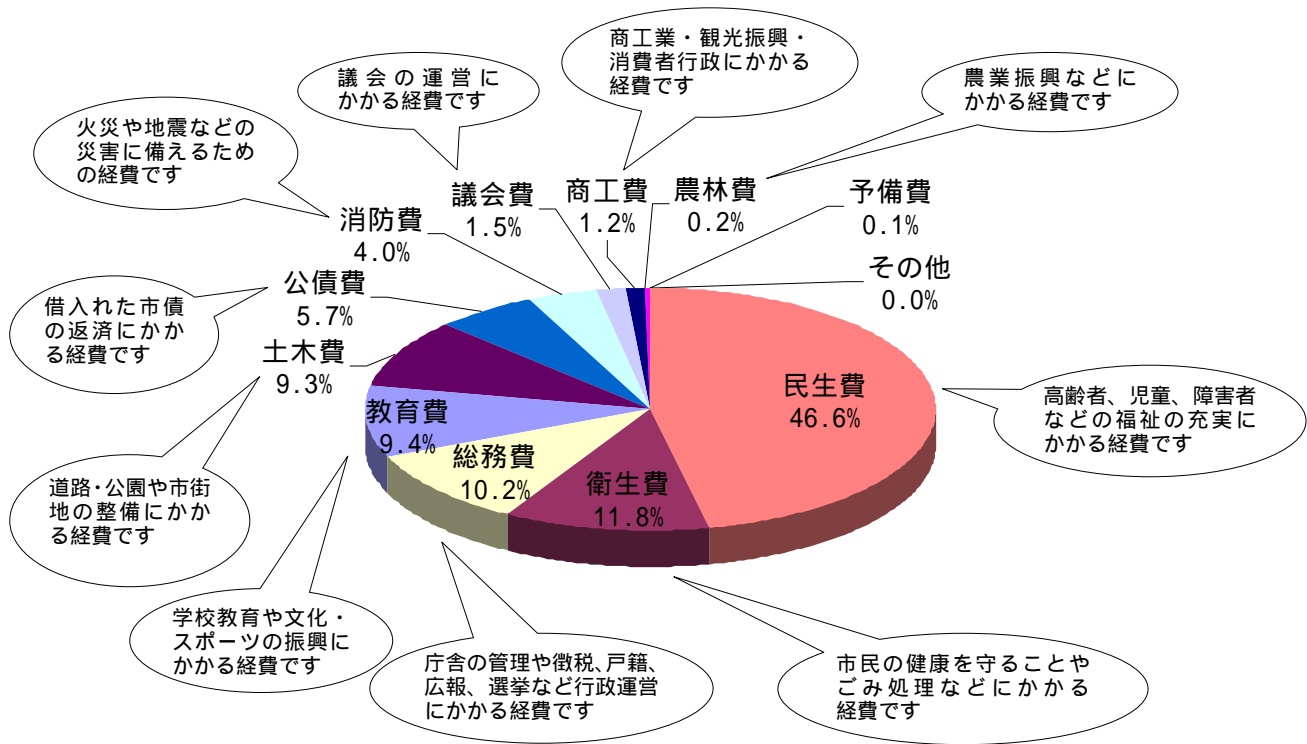
それから、平成21・22・23年度で大きく減っているのは、市民税（法人）ってところよ。これ、お母さん知っているわ。長引く経済不況の影響で、企業の業績が伸び悩んでいるのが原因ね。羽村市は、企業からの税金が多くを占めているのよ。それによって、個人の収入も減って、市民税（個人）も減ってきているのよ。

市の支出











市の支出（歳出）について・・・

市の支出の内訳は次の表・グラフのとおりです。

款	予 算 額	構成比
民生費	95億7,676万円	46.6%
衛生費	24億2,987万円	11.8%
総務費	20億9,386万円	10.2%
教育費	19億2,821万円	9.4%
土木費	19億1,934万円	9.3%
公債費	11億7,934万円	5.7%
消防費	8億1,279万円	4.0%
議会費	3億 192万円	1.5%
商工費	2億4,531万円	1.2%
農林費	3,461万円	0.2%
予備費	3,013万円	0.1%
その他	786万円	0.0%
合計	205億6,000万円	100.0%



- 市民一人あたりの支出の状況は -

議会費 5,386円 	総務費 37,357円 	民生費 170,861円 	衛生費 43,352円 	商工費 4,377円 
土木費 34,243円 	消防費 14,501円 	教育費 34,402円 	公債費 21,041円 	その他 1,295円 



： そうか、僕たちが学校で勉強する費用やゆとりぎの費用などの教育費は、市民一人あたりにすると 34,402 円かかっているってことなんだね。



： 家の前の道路の整備や近所の公園の維持などの土木費は、34,243 円の費用がかかっているってことね。



： お母さん見て、公債費ってあるけど、これがお母さんが「ばかにならない」ってさっき言ってた市の借金のことでしょ。市の借金を市民の税金で返してるんだ。なんだか納得いかないなあ。そもそも何で市が借金なんかするんだろう？ 借金なんて無いほうがいいのに・・・

市債の状況



市債とは

公共施設を建設したり、道路や下水道を整備したりするためには多額のお金が必要です。このお金の不足を補うのに市は「長期ローン」で国や東京都、銀行などから借金をします。これを市債と言います。

市債は無いほうが良いのでしょうか？

実は、市債にはお金の不足を補う役割のほかに、もう一つ目的があります。それは、公共施設や道路、下水道など将来に渡って利用するものを現在住んでいる人だけに負担してもらうのではなく、将来の市民にも公平に負担してもらおうという「世代間負担の公平」の目的です。

そのため、市では将来の負担が重くなり過ぎないように、必要な借金を計画的に借り入れるように努めています。

- 23年度の市債は・・・ -

臨時財政対策債 8億円

夜間急患センター用地取得事業債 3,200万円

市債（歳入）として借り入れた借金は、翌年度以降公債費（歳出）として返済していくこととなります。

臨時財政対策債とは、地方の財源不足を補てんするため特例的に認められる地方債（市債）です。市町村の財源不足額について、これまで国が交付税特別会計で借り入れて地方交付税として配分していたものを、平成13年度から、市町村が市債として借り入れるようになったものです。後年度の償還については普通交付税の基準財政需要額で全額措置されることになっています。



： 我が家にも家のローンやら車のローンなんてあるけど、お父さんのお給料で返せるぐらいに計算して借りているし。バランスが大事よね。市の借金ってどれくらいあるのかしら・・・

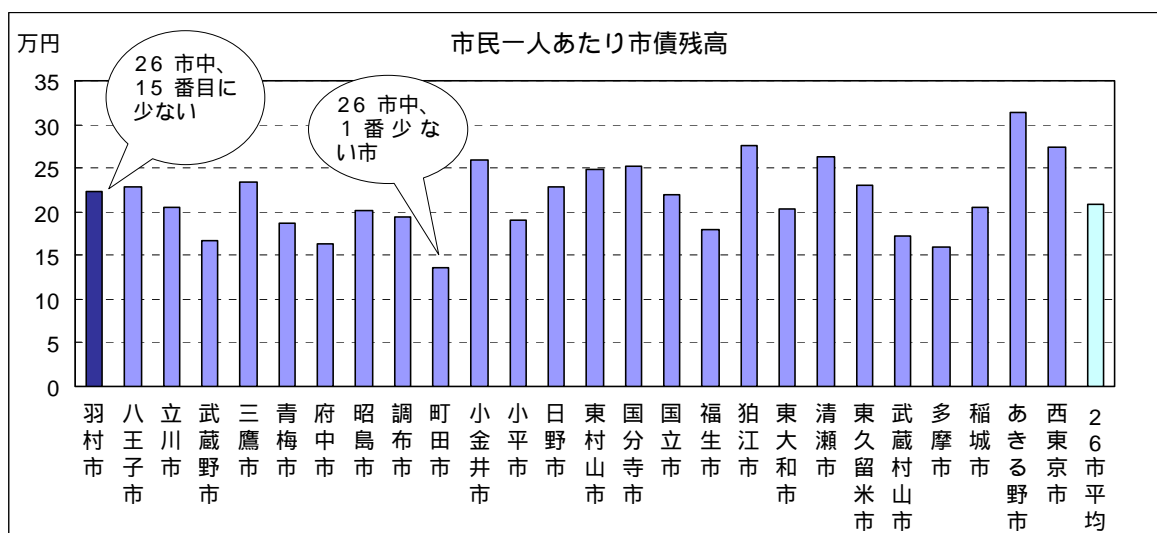
- 一般会計市債残高見込み -

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
市債借入額	5億2,300万円	6億8,000万円	9億0,000万円	8億3,200万円
市債返済額	12億3,188万円	12億6,455万円	12億3,488万円	11億7,737万円
元 金	10億 93万円	10億5,245万円	10億2,733万円	9億8,121万円
利 子	2億3,095万円	2億1,210万円	2億 755万円	1億9,616万円
市債残高	113億8,525万円	110億1,280万円	108億8,547万円	108億8,547万円

平成21年度までは決算額、22・23年度は当初予算額です。

平成 23 年度末の残高の見込みは 107 億 3,627 万円です。市民一人あたりの借金の残高（見込み）は 19 万 1,548 円 です。

東京都の 26 市における市民一人あたりの残高比較では、羽村市は 26 市中 15 番目に少ない市となっています。（平成 21 年度決算 普通会計）



： 借金があるってことは、貯金もあったりするのかなあ。



： そうね。市でも万が一に備えて、しっかり貯金などはしているはずよ。

基金の状況



基金とは

基金とは、一般家庭の「貯金」にあたります。将来の財政のやり繰りに備えて積み立てておいて、お金が不足する年に使ったり、施設の建設など特定の目的に使うために活用しています。基金は市の条例などに基づいて積み立て、運用を行っています。

- 一般会計基金残高見込み -

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
基金残高	55億3,079万円	53億2,178万円	42億707万円	41億7,628万円	30億7,672万円
財政調整基金	25億330万円	25億3,660万円	16億4,272万円	16億4,543万円	9億1,617万円
減債基金	212万円	213万円	214万円	214万円	214万円
特定目的基金	30億2,537万円	27億8,305万円	25億6,222万円	25億2,870万円	21億5,840万円

平成21年度までは決算額、22年度は最終補正見込額・23年度は決算見込額です。

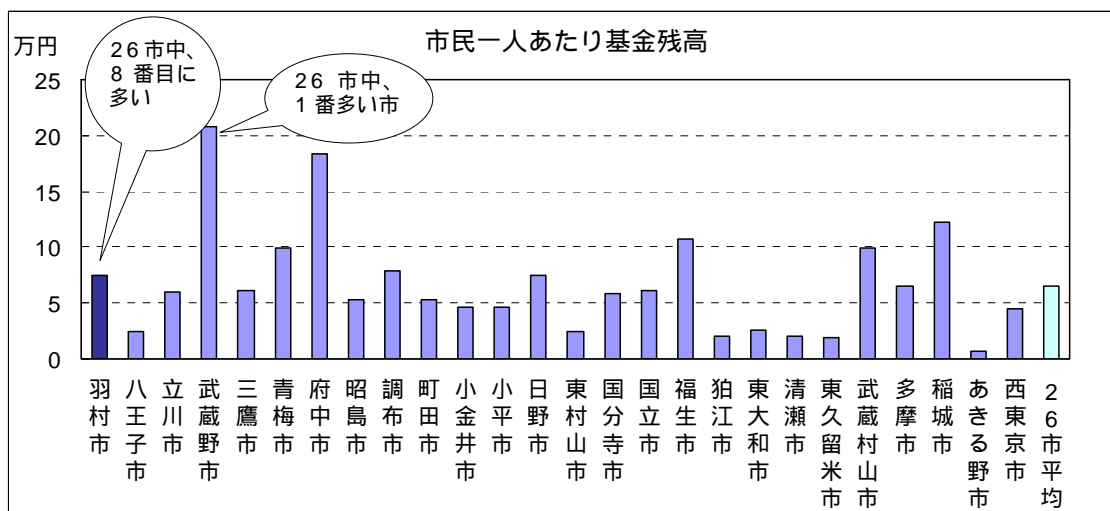
財政調整基金 = 年度間の財源不足などを調整するための基金です。

減債基金 = 市債の返済を計画的に行うための資金を積み立てる基金です。

特定目的基金 = 特定の使用目的のために資金を積み立てる基金です。 例) 教育振興基金

平成 23 年度末の貯金額の見込みは 30 億 7,672 万円です。市民一人あたりの貯金額（見込み）は 5 万 4,892 円です。

東京都の 26 市における市民一人あたりの貯金額の比較では、羽村市は 26 市中 8 番目に多い市となっています。（平成 21 年度決算）



: 借金だとか貯金だとか、ずいぶん市の予算が身近なものの気がしてきたぞ。でも僕たちの羽村市の状況ってどうなんだろう。お母さんはいつも我が家の家計は厳しいって言うけど・・・市の家計はどうなんだろう？

平成 23 年度一般会計予算を 1 世帯あたりの家計簿で見ると・・・

平成 23 年度一般会計予算を、太郎君の家の毎月の家計費 20 万円に置き換えて考えると、一世帯あたりの収入・支出の内訳は次のとおりとなります。



収入		支出	
給料 (市税)	98,400 円	子どもなどへの援助 (補助費・繰出金)	59,400 円
親からの支援 (国・都支出金、地方譲与税など)	60,400 円	医療費 (扶助費)	55,200 円
ものを売ったお金、貯金の利子や配当(その他)	14,600 円	食費・家賃 (人件費)	36,000 円
貯金の取り崩し (基金繰入金)	11,800 円	光熱水費・電話代 (物件費)	31,000 円
銀行などからの借入れ (市債)	8,000 円	ローンの返済 (公債費)	11,400 円
パート収入 (使用料・手数料、分担金など)	5,800 円	庭の整備、家電製品の購入 (普通建設事業費)	5,000 円
前月から繰り越したお金 (繰越金)	1,000 円	その他 (積立金等)	2,000 円
合計	200,000 円	合計	200,000 円

カッコ内は、市の予算に置き換えた場合を表します。

太郎くんの家では、給料が 9 万 8,400 円のため、月の家計費 20 万円には 10 万 1,600 円不足してしまいます。そのため、親からの支援や貯金の取り崩し、銀行などからの借入れを行うなどして家計費を補っています。

なるべく借金をしないようにするため、支出の面でも将来のことを考え、余計なものは買わないなどの努力をしていますが、家族の医療費なども必然的に増加してしまい、厳しい家計状況にあります。

これからも欲しいものも少し我慢するなど、太郎くんにもいろいろと協力してもらわなくてはなりません・・・。



： 20 万円で見ると、わかりやすいなあ。でも、給料が支出の半分いかないのかあ。収入に対して医療費(扶助費)がかかっているということも良く分かるし。う～ん、でも家族のためには、僕も少し我慢しなくちゃダメかなあ～。

市の財政状況



： 地方自治体の家計の状況を見る一つの目安に「経常収支比率」っていうのがあるって聞いたことがあるけれど…

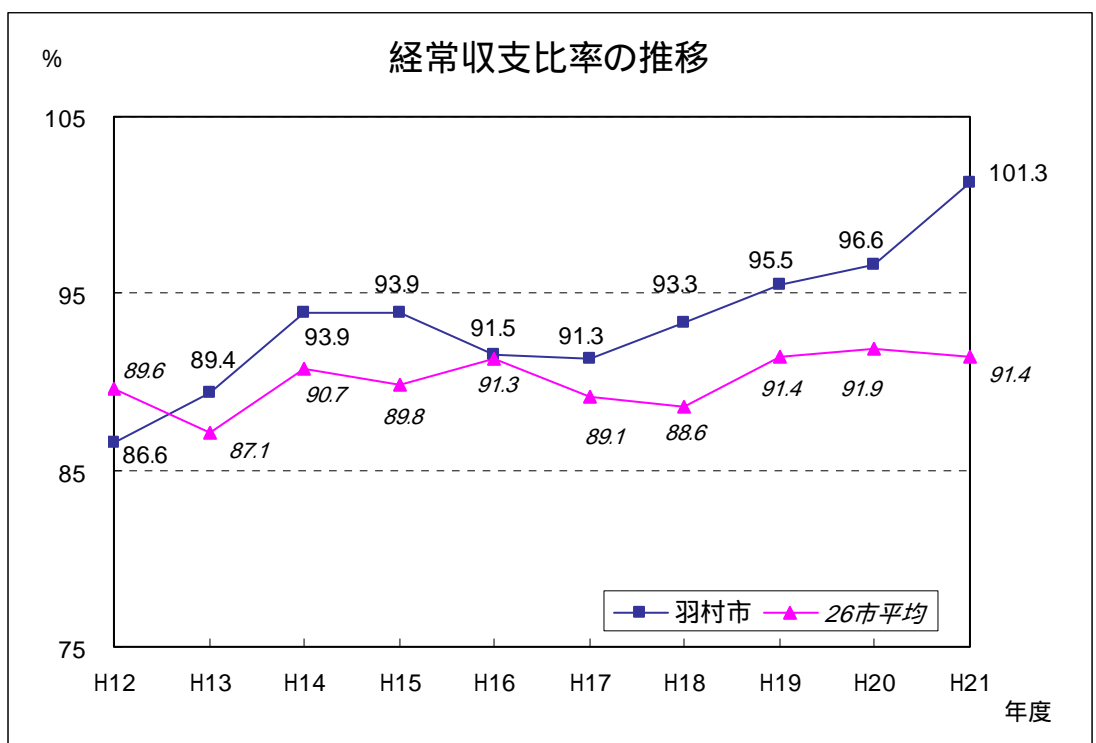


経常収支比率(けいじょうしゅうしひりつ)について

市が毎年の事業を行うにあたって、福祉や医療などの社会保障に係る経費や市の借金の返済、市役所の職員の給料など「決まって支払われる経費」に対して、税金など「決まって入ってくる収入」がどの程度使われているかをみる指標です。

家計に例えるなら、毎月の生活費やローンの返済にお給料がどれ位使われているか…、といったイメージです。

この指標が高いということは「自由に使えるお金が少ないので、新しい事業にお金が振り向けられないという状態」ということでもあり、柔軟な財政の運営が難しい状態とも言われます。最新のデータ(平成21年度決算)では、羽村市の経常収支比率は101.3%となっています。今後も扶助費などの経常的経費の増加が見込まれますが、行財政改革を推進し、比率の改善に努めていきます。



： 101.3%かぁ。市の財政も大変だな。僕も協力しないとイケないな。その他に目安になる指標とかってあるのかなぁ…

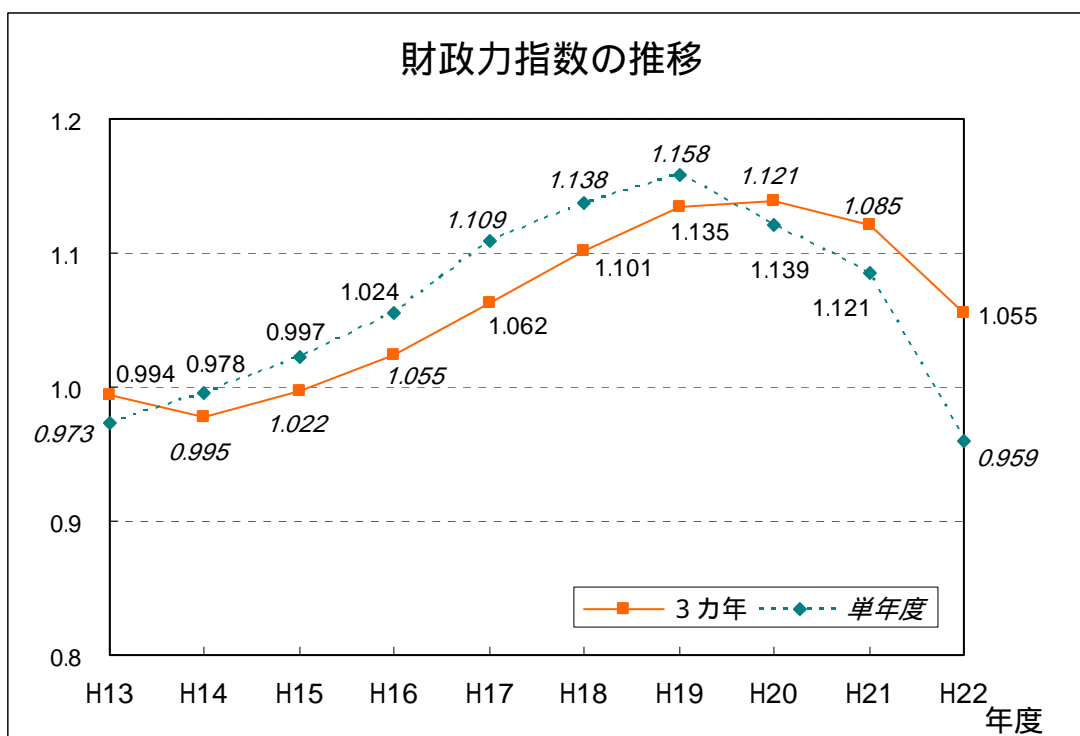


財政力指数(ざいせいりょくしすう)について

財政力指数は、財政力を表す指標です。地方交付税の算定に伴って算出される数値で、この数値が高いほど財政力があるといわれ、単年度で1を超えると普通交付税が交付されない不交付団体となります。他団体と財政力を比較する場合には、その年度を含めた3か年の平均値を使用します。

最新のデータ(平成22年度)では、羽村市の財政力指数は1.055(3か年平均)(26市平均1.055、26市中11位)、平成22年度単年度では、0.959(26市平均0.982、26市中12位)です。平成22年度は財政力指数が単年度で1を下回り、普通交付税の交付団体となりました。これは平成14年度以来8年ぶりのことです。全国1,774の団体のうち、財政力指数が1を上回る不交付団体は71団体のみであり、近年の経済不況が全国の自治体に大きな影響を及ぼしているものと考えられます。

普通交付税制度は、地方公共団体の税源の不均衡を調整し、一定の行政サービスが提供できるよう財源を保障するものであり、交付税が交付される団体になったからといって、市の財政が赤字になったということではありません。



: びっくりした！市の財政が赤字になったのかと思ったわ。不況の影響で市の収入が減ってしまったから、国が補償してくれているということよね。でも補償なしでやっていける自治体が全国で71団体しかないというのは驚きよね。



: そうだね～。僕がお母さんからおこづかいをもらっているのと同じように、市も国からおこづかいをもらっているということかな～。

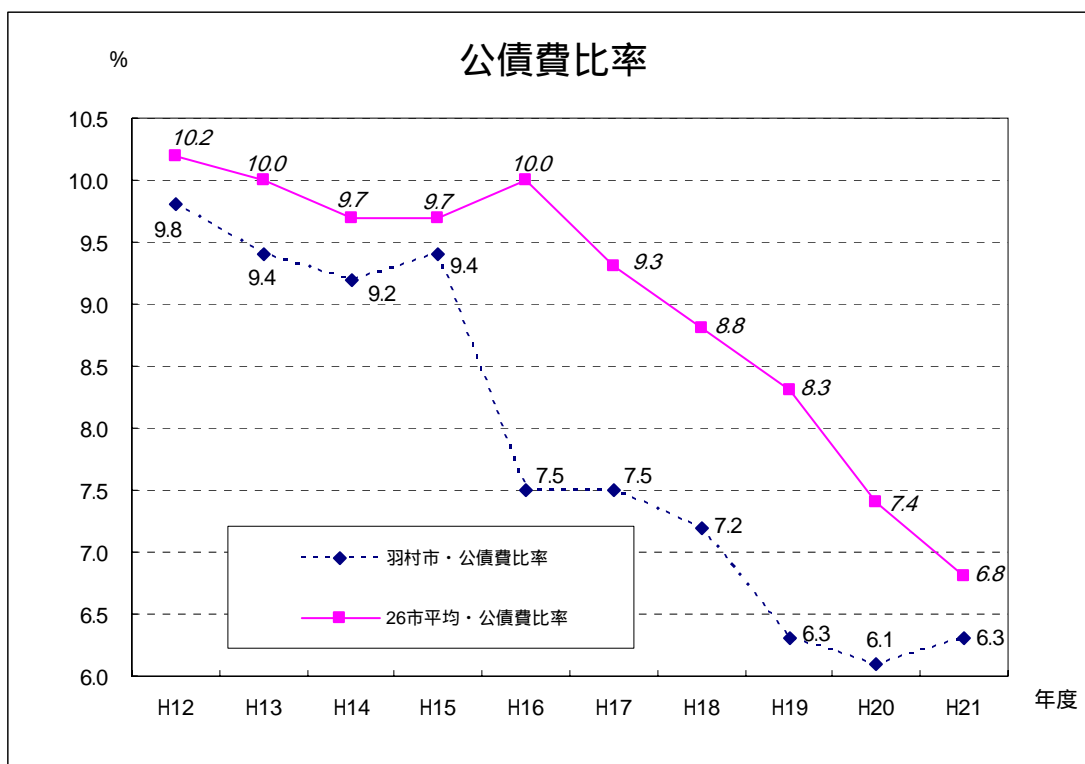


公債費比率(こうさいひひりつ)・実質公債費比率(じっしつこうさいひひりつ)について

公債費比率は市の支払額の全体に占める借金の返済額の割合から、市の借金の状況を判断するための指標です。この比率が高いほど、市の財政が厳しい状況と言えます。家計に例えるなら、月々の家計のやりくりの中にどれ位ローンの支払いが占めているか・・・、といったイメージです。この数値は一般的に 10%を超えないことが望ましいとされています。

また、実質公債費比率は上記に加え、下水道事業や市が関係する組合（福生病院や西多摩衛生組合 etc）などの借金を市がどの位負担しているかを判断する目安です。この数値が 18%を超えると市が借金をするのに国や東京都の許可が必要となります。

最新のデータ（平成 21 年度決算）では、羽村市の公債費比率は 6.3%（26 市平均 6.8%）、実質公債費比率は 4.8%（26 市平均 4.1%）となっています。



：市の財政状況を計る物差しているいろいろあるのね。公債費比率は 26 市の平均以下ってことか。市が計画的に借金をしているということにも納得できるわ。うん、市も頑張っているみたいね。これからも行財政改革を進めて欲しいわ。

よし！我が家も家計改革推進よ！太郎とお父さんの小遣い、来月からカットね！



：勘弁してください・・・

ここまで市の平成 23 年度の予算の大まかな状況を太郎くんとお母さんと一緒に見てきましたが、ここでの内容は市の予算や財政状況を知る上でのほんの最初の一步といったものとなっています。

市では、この他に各年度の具体的な事業をとりまとめた「予算説明書」や「予算書」、財政状況をまとめた「財政白書」などの冊子を、いつでも閲覧していただけるように図書館、市役所 1 階の市政情報コーナー、財政課窓口に用意しております。また、これらの冊子は市のホームページからもご覧になれます。

市では、今後も市民の皆さんに、市の予算や財政状況により一層興味をもっていただけるよう、「わかりやすい財政状況の公表」に努めてまいります。

羽村市公式サイト <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



平成 23 年度羽村市の予算 最初の一步！

平成 23 年 3 月発行

発行 羽村市

編集 羽村市企画部財政課

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘 5 丁目 2 番地 1

Tel 042-555-1111(代)

Fax 042-554-2921

E-mail s102500@city.hamura.tokyo.jp

URL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>